

和歌山県教育委員会定例会会議録

- 日 時 平成30年4月18日(水) 15:00~
- 場 所 教育委員会室
- 出席者 宮 下 教育長
竹 山 委 員
佐 藤 委 員
桑 原 委 員
沼 井 委 員
関 守 委 員
山 本 教育総務局長
木 皮 生涯学習局長
小 滝 学校教育局長
出津野 総務課長
津 田 給与福利課長
中 村 生涯学習課長
堂 本 人権教育推進室長
高 橋 スポーツ課長
太 田 スポーツ課教育企画員
栗 生 文化遺産課長
川 嵩 県立学校教育課長
大 城 特別支援教育室長
前 田 義務教育課長
泉 児童生徒支援室長
松 本 学校人事課長
橘 健康体育課長
鈴 木 教育センター学びの丘所長
田 中 総務課副課長
繁 張 総務課秘書班長
井 手 総務課副主査
西 川 総務課副主査

1 開 会

○教育長 ただ今から、教育委員会4月定例会を開会する。

○教育長 本日の議題である議案第3号については、人事案件であるため、また、その他の「平成31年度和歌山県公立学校教員採用候補者選考検査」については、教育行政の公正、また円滑な運営に著しい支障を及ぼす恐れがあるため、これらを非公開としたいが、よろしいか。

(異議なしの声)

○教育長 それでは、議案第3号および、その他の「平成31年度和歌山県公立学校教員採用候補者選考検査」については、非公開とする。については、議事進行上、非公開案件の審議を「諸報」終了後としたいが、よろしいか。

(異議なしの声)

2 前回会議録の承認

平成30年3月14日(水)の定例会会議録について、承認した。

3 付議事項

報第1号

第57回和歌山県スポーツ賞受賞者の報告について

○教育長 第57回和歌山県スポーツ賞受賞者の報告について説明願いたい。

○スポーツ課長 今年2月の韓国江陵市で開催された第23回オリンピック冬季競技大会スケート競技において、株式会社タカショー所属の坂爪亮介選手が日本代表として出場し、スケートショートトラックにおいて、出場した全ての種目において入賞を果たし、日本チームに多大なる貢献を果たされた。この大きな功績を讃えて先月3月26日に、仁坂知事からスポーツ顕賞を授与したことを報告する。

○教育長 それではよろしいか。

(異議なしの声)

○教育長 報第1号については、報告のとおり了承する。

議案第1号

平成30年度和歌山県教育委員会事務評価審議会の委員の委嘱について

○教育長 平成30年度和歌山県教育委員会事務評価審議会の委員の委嘱について説明願いたい。

○総務課長 本審議会は法令に基づき、平成29年度対象の県教育委員会の事務が適切に実施されているか審議するものである。審議会委員について7名に委嘱したい。民間1名、各校種校長会代表、生涯学習や社会教育等の観点から7名を案としている。平成30年度教育委員会事務の点検及び評価報告書（平成29年度対象）については、5月教育委員会に付議した後、6月議会に提出するものである。審議をお願いしたい。

○教育長 それではよろしいか。

（異議なしの声）

○教育長 議案第1号については、原案のとおり決定する。

議案第2号

和歌山県スポーツ推進計画について

○教育長 和歌山県スポーツ推進計画について説明願いたい。

○スポーツ課長 本県において、平成19年12月和歌山県スポーツ振興基本計画を策定し、元気で明るく豊かで活力のある和歌山の実現に向けて、様々なスポーツ振興計画を展開してきた。本計画は、スポーツ基本法の理念並びに和歌山県長期総合計画、和歌山県教育振興基本計画の方向性を4つの基本方針に絞り込み、県民のスポーツへの興味関心をさらに高め、スポーツの日常化に繋げることに力点を置いた基本的方針と具体的方策を示したものである。

- （1）全国体力・運動能力・運動習慣等調査における順位を上げるため、幼児期における運動の遊びに関する指導の充実、学校における体育に関する指導の充実、子供を取り巻く社会のスポーツ環境の充実を図る。
- （2）成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上をめざし、スポーツに親しむことのできる環境整備の推進、総合型地域スポーツクラブ及びスポーツ指導者の育成支援を図る。
- （3）オリンピック・パラリンピック競技大会に出場する本県関係者や国民体育大会での男女総合順位及びインターハイでの入賞種目の数を増やすため、ジュニア期からの一貫した強化体制の確立、スポーツ指導者の

養成と活用、高度なスポーツ医・科学分野の支援などを実施する。
(4) 全国大会、国際大会の開催及び国際競技大会等にかかるキャンプの誘致数を増加する。

審議をお願いしたい。

○教育長 ワールドマスタースゲームズの現在の進捗状況を概要で説明願う。

○スポーツ課長 ワールドマスタースゲームズ2021関西が2021年5月14日から30日の間、開催される。来年3月末に本県で開催する5競技7種目についての要項を作成するため、昨年3月に実行委員会を立ち上げ、現在進めている。また、広報についても今後幅広く行っていきたいと考えている。

○沼井委員 ジュニア期からの一貫した強化体制の確立とはゴールデンキッズ発掘プロジェクトのことか。

○太田教育企画員 ゴールデンキッズ発掘プロジェクトも含めてのことである。国体の際には、ジュニアを育て、高校期で入賞をさせた経験があるので、ジュニアを強化することは今後につながるので、特に重点を当てていく。

○沼井委員 ゴールデンキッズ発掘プロジェクトは十数年されているが、どれくらいの成果が出ているか。

○太田教育企画員 日本代表として国際大会に出場したり、えひめ国体や小・中学校の全国大会で活躍している子も出てきており、年々成果が出ている。東京オリンピックも近いので頑張ってもらいたい。

○竹山委員 スポーツに親しむ環境づくりについて、場所の確保をかなり意図的にやっていかないといけない。今後どのように開拓し、気軽にみんながスポーツができるような環境づくりをめざしているのか。

○太田教育企画員 小学校等の体育館、国体で使用した施設もしっかり活用している。総合型地域スポーツクラブ等で地域の施設も使用し、運動習慣を身に付けてもらいたい。

○桑原委員 学力や不登校の背景などでも幼稚園や保育所での取り組みの習慣が非常に影響があったので、運動面についても就学前の習慣付けは非常に大事になる。

○佐藤委員 アンチ・ドーピング活動とは、どの程度のものか。

○スポーツ課長 選手生命が絶たれることを避けるため、県薬剤師会の会員の中のスポーツファーマシストという、日本アンチドーピング機構の資格を持った人に競技団体の担当になっていただき、選手が飲食する際に確認できる体制をとっている。

○教育長 それではよろしいか。

(異議なしの声)

○教育長 議案第2号については、原案のとおり決定する。

4 諸 報

「行事予定」について、事務局より説明。

<主な日程>

5月24日(木) 教育委員会5月定例会

これより非公開の案件とする。傍聴の方は退室願う。

<非公開議案>

議案第3号

和歌山県教育委員会所管公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会(平成30年度教育広報紙作成業務に係るプロポーザル方式事業者選定委員会)の委員の委嘱について

総務課長から、和歌山県教育委員会所管公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会(平成30年度教育広報紙作成業務に係るプロポーザル方式事業者選定委員会)の委員の委嘱について説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

5 その他

平成31年度和歌山県公立学校教員採用候補者選考検査について

学校人事課長から平成31年度和歌山県公立学校教員採用候補者選考検査について説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。

6 閉 会

○教育長 これで、予定されていた議事が全て終了したので4月定例会を閉会する。
(15:50閉会)